

[210]九州大学大型計算機センターニュース : No. 210

<https://doi.org/10.15017/1495084>

出版情報 : 九州大学大型計算機センターニュース. 210, pp.1-3, 1980-06-11. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :



九州大学
大型計算機センターニュース

No. 210

福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号
九州大学大型計算機センター
共同利用掛 (TEL092-641-1101)
内線 2505

目 次

◇ TSS 端末展示会の開催について	1
◇ 利用者講習会の開催について	1
◇ FAIRS/INSPEC 懇談会開催についてのお知らせ	2
◇ 談話会「大型科学技術計算とベクトルプロセッサ」開催についてのお知らせ	3

◇ TSS端末の展示会の開催について

TS Sの利用が増え、それと同時に研究室に端末を設置されるところが多くなっています。端末の導入にあたっては各種端末について調査検討されることと思います。このためセンターにおいても年2回端末について調査を行い、その結果を広報に掲載していますが、今回実際に端末を操作し比較検討できるように、昨年に続き下記のとおりTS S端末の展示会を開催いたします。当日は展示端末による現運用システムでのTS Sの利用もできますので、端末の設置を検討されている方、及びTS Sに興味を持たれている方にとっては一堂に多社端末が展示され良い機会だと思います。大いに利用されることを期待しています。

記

- | | |
|-------|--|
| ・日 時 | 6月21日(土) 13時～16時 |
| ・場 所 | 九州大学大型計算機センター多目的講習室(3階) |
| ・展示内容 | 交換回線端末(300 bps) } 約30機種
専用回線端末(1200 bps) |
| ・その他 | 当日TSSを利用される際の課題番号はセンターで用意しますが、利用者の課題番号でも利用できます。ただし、センターの課題番号による利用負担金は無償ですが、自分の課題番号による場合は有償となります。 |

共同利用掛(電(内)2505)

◇ 利用者講習会の開催について

講習会を下記の要領で行います。なお、会場等の都合により定員に達ししたい申し込みを締め切らせていただきますのであらかじめご了承ください。

記

1. XYプロッタ, グラフィックス講習会

- ・期 日 6月25日(水), 26日(木), 27日(金)
- ・対 象 プログラミング経験者
- ・募集人員 40名
- ・会 場 九州大学大型計算機センター多目的講習室(3階)
- ・テキスト 九州大学大型計算機センター広報 VOL. 12 NO. 3
VOL. 13 NO. 1

次のマニュアルをお持ちの方はご持参ください。

FACOM OSIV PSP文法書 64SP-6100-2
FACOM OSIV/F4 PSP使用手引書 64SP-6110-2
FACOM OSIV GSP文法書(高級型用) 64SP-6010-2
FACOM OSIV/F4 GSP使用手引書 64SP-6032-1

・時 間 割

	10:00	12:00 13:30	15:30
25日	PSPとHCBSの使い方	昼休み (続き) PSPとHCBSの使い方	
26日	CPRの使い方	昼休み PLOT10の使い方	
27日	GSPの使い方	昼休み TGSPの使い方	

- ・申込み締切期限 6月21日(土)
- ・申込み先 九州大学大型計算機センター
共同利用掛(電(内)2505)

◇ FAIRS/INSPEC懇談会開催についてのお知らせ

本センターでは, 昨年秋から情報検索システムFAIRS-IによってINSPEC-C(英国IEEE作成; 計算機と制御関係の文献データ)の文献検索サービスを行っています。センターとしては, 利用者の方々からFAIRSまたはINSPECについてのご意見を伺いたいと考え, 下記の要領で懇談会を開催することになりました。文献検索やデータベースに関心をお持ちの方は奮ってご参加ください。なお, 当日は富士通FAIRS作成者の出席を予定しています。

記

日 時 昭和55年6月23日(月) 13時30分~16時まで
場 所 センター会議室(5階)

- 内 容 (1) 現行のINSPEC検索サービスで改善すべき点
(2) FAIRSの改良すべき点
(3) センターにおけるデータベースのあり方

(研究開発部)

◇ 談話会「大型科学技術計算とベクトルプロセッサ」開催についてのお知らせ

CRAY-1に代表されるベクトルプロセッサは、並列処理によってベクトル計算や行列計算を高速に実行し、大型科学技術計算の分野では最高速の汎用プロセッサ数台以上に匹敵する能力をもっています。この処理能力のために、最近ではベクトルプロセッサをスーパーコンピュータとよぶこともあります。ベクトルプロセッサは、徐々に設置台数が増え、わが国でも民間では今年から米国製ベクトルプロセッサの設置が始まりましたが、その契機となったのは、1975年のCRAY-1の発表でしょう。

センターでは、利用者の方々とともに大学におけるベクトルプロセッサの必要性などについて考えてみたいと思い、標記談話会を下記のように開催することになりました。講演は、富士通の方々にお願いしました。富士通は、ベクトルプロセッサ(FACOM 230-75アレイプロセッサ)の開発経験があり、現在のところ、CRAY-1対抗機の開発計画をもつ唯一の国内計算機メーカーであるからです。大型科学技術計算に興味をお持ちの方は、奮ってご参加ください。

記

- | | |
|-------|--|
| 日 時 | 7月4日(金) 13時30分～16時 |
| 場 所 | センター会議室(5階) |
| プログラム | 1. 講演(13時30分～15時20分)
(1) ベクトルプロセッサの現状について
(2) FACOM M-190をフロントエンドプロセッサとしたCRAY-1について
(3) FACOMベクトルプロセッサについて
2. 討論(15時20分～16時) |

(研究開発部)